

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	創業支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課			
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	創業者及び創業予定者	意図	創業を促進することで地域の雇用創出や経済の新陳代謝を図る。
事業内容	市町村が実施する、ワンストップ相談窓口を設け、商工会議所、金融機関等と連携し、創業の実現を促進する。また、女性向けセミナーを開催し、参加者の2割程度の創業を目指す。さらに、流山商工会議所を特定支援事業者とし「創業塾」を開催し、経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市創業支援事業計画に基づき、市内で創業・起業しようとする方の支援を図るため、流山商工会議所と連携し女性向け創業支援セミナーを2期、計12回開催。また、商工会議所が開催する創業支援セミナーを1期、6回開催。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		女性向け創業スクール	0	21	31	人	↑↑↑
	創業スクール	20	14	13	人	↑↑↑	実績より
指標で表すことができない定性的な成果	セラピストや翻訳業、フリーペーパーの発行業など、スクール卒業生による創業が誕生している。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度	流山商工会議所と連携し、市内で新規に創業及び創業後5年未満の事業者を対象に、経営基盤の安定や開業率の引上げによる地域経済の活性化に繋げるため、「ワンストップ相談窓口」、「女性向け創業スクール」、「創業スクール」を設置・開催するなどし、創業の気運を高めるとともに、創業予定者の醸成を図った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,960,500	2,400,950				
事業費(b)(円)		454,500	684,700				
うち一般財源		454,500	684,700				
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,716,250				
人役・職員(人)		0.20	0.25				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	ワンストップ相談窓口の充実、女性向け創業スクールの開催による創業予定者の醸成。	取組の課題	セミナー参加者の確保。創業のための店舗の確保に向けた支援。
今年度(H28)に実施した取組	ワンストップ相談窓口の継続と充実、女性向け創業スクールの開催による創業予定者の醸成が図れた。	今後の改善計画	市内空き店舗の活用。市が行うセミナーの開催については修了生の交流会やサポートに努める